

1 子育て支援パートナーズ・プロジェクト (Kids Support Partners Project : KSPP) の概要

日本の人口問題は切実であり、30年後は三人に一人が65歳以上という超高齢者時代を迎えます。労働力不足に対しては労働年齢を押し上げるなどでいくらかの対応が可能であるにしても、健全な日本の発展には子供の率、数を増やすことが最も重要です。

その意味では、多くの子供を育てる事は社会貢献であるにも拘わらず、我が国においてはその認識は低く、結果的には子育ての経費は個々の家庭の負担に頼らざるを得ない現状にあります。

種々な少子対策が行われてはおりますが、日本においては子供への投資は未だに充分では有りません。1例を挙げると、合計特殊出生率が2.0のフランスにおいての子供関連予算は国内総生産の2.6%かけているのに対し、合計特殊出生率が1.4の日本においては0.75%しかかけていない、という極めて子育てに厳しい現実があります。

また、20-49歳男女1000名の‘子供を増やしたいか?’のアンケート（2010年）では、フランスでは80%がイエスであるのに対し、日本ではイエスは50%しかないという非常に辛い現実もあります。

私自身は長年子供の医療に携わり、子育てをする家族と子供のおかれた状況を見てきました。社会福祉法人を運営する立場になり、ずっと温めてきた働く家族に優しく、楽しく子育てが出来るように、の思いを込めて、この‘子育て支援プロジェクト’を立ち上げる事に致しました。

今後、NPO法人中国四国小児外科医療支援機構のプロジェクトとして、全国に展開し、少しでも少子化対策に貢献できれば幸いに存じます。

2 子育て支援パートナーズ・プロジェクト (KSPP) の理念

子供に優しい国つくり
-日本の国は一人一人の日本人で守っていこう-

3 子育て支援パートナーズ・プロジェクト (KSPP) 代表の履歴

氏名 : 青山興司 広島県尾道市出身
(小児外科指導医・小児科専門医)

昭和43年に岡山大学医学部を卒業後、国立岡山病院にて小児科医師として4年間働いた後に、小児外科を選考し、大阪小児保健センターに3年間勤務後、国立岡山病院にて概略20年間小児外科医師として働く。その後、川崎医科大学小児外科初代教授として7年間勤務後、独立行政法人国立病院機構岡山医療センターの院長として6年間勤務する。その後、社会福祉法人旭川荘の特別顧問、高梁市市政アドバイザー、尾道市立総合医療センター総長などを経て、社会福祉法人尾道さつき会の理事長職を努めた。

現在は独立行政法人国立病院機構岡山医療センター名誉院長
NPO法人中国四国小児外科医療支援機構理事長、国際ボランティア・ジャパンハート顧問として、次代の小児医療を担う若手医師の育成を行っている。

4 子育て支援パートナーズ・プロジェクト (KSPP) の事務局

名称

国立病院機構岡山医療センター小児外科内

中国四国小児外科医療支援機構

子育て支援パートナーズ・プロジェクト (KSPP)

代表 青山興司 (担当: 香川真由子)

住所 701-1192 岡山県岡山市北区田益 1711-1

電話 086-294-9911 (Ex.8002; 後藤隆文)

Fax 086-294-9255 (後藤隆文宛)

連絡 E-mail: k_aoyama1101@yahoo.co.jp